

いなさびと

平成29年3月発行
発行者 栗谷 宗久
編集 まちづくり協議会
広報

「伊那佐の歴史学習」事業 開催報告

『宇陀歴史誕生』

学習会について

伊那佐地区まちづくり協議会

会長 栗谷 宗久

『宇陀歴史誕生』学習会

伊那佐地区まちづくり協議会主催の「宇陀歴史誕生」学習会が、平成29年2月10日に実施されました。伊那佐地区内だけでなく、地区外の方を含めて61名もの参加者を得て盛大に開催することができました。

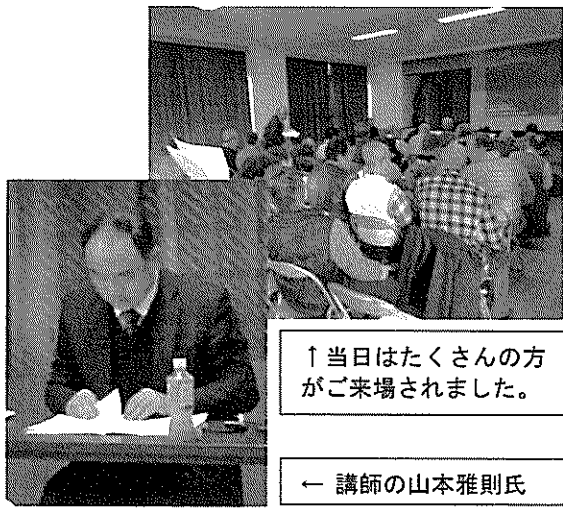
この企画につきましては、以前より地域の方より石田の故笹岡虎司氏の『釈慈圓遺稿』を復刻し、みんなで学習会をしませんかというご意見から始まりました。まちづくり協議会運営委員会了承され、宇陀市より「いきいき地域づくり補助金」をいただいで実施させていただきました。内容については委員会でご相談の上、著書の中にある「宇陀西国三十三所」について学習会をすることになり、講師は山本雅則氏(曾爾村教育委員会・御杖村教育委員会指導主事)をお願いすることになりました。

当日、プロジェクターを使い一番から三十三番まで解説を時間延長してまで最後までお話しただきました。我が伊那佐地区には四箇寺があり十四番三宮寺の

三宮寺は「十一面観音立像」が本尊で、場所は三寶荒神付近にあつたのではないかとということ、また現在、観音様は大切に守りいただいておられる方がいるようです。次は、十五番、大貝の妙法寺です。ここも、六柱神社と神仏習合でした。本尊は「十一面観音立像」です。有志による宇陀西国第十五番札所を示す石碑が建てられています。

つづいて、十六番澤の常念寺です。ここのご本尊は「如意輪観音石像」です。場所は現在のお堂より登った竹藪あたりでなかったかと説明いただきました。最後は十七番澤の岡寺です。本尊は「十一面観音立像」です。六柱神社拝殿を圧倒する岡寺は、当時の神仏習合の形態を、現在まで残しており大変貴重であると話されておられました。

山本氏の話に参加者全員聞き入り、時間の経つのも忘れるくらいでした。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。



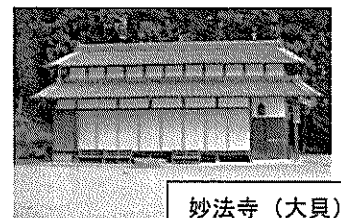
↑当日はたくさんの方がご来場されました。

←講師の山本雅則氏

まちづくり協議会は、伊那佐地区住民だけでなく自治会には参加していないが、活動されている全ての人々を結び組織です。



三寶荒神神社(三宮寺)



妙法寺(大貝)



岡寺(澤)



常念寺(澤)

『百歳体操』について

福祉・教育・健康・環境部会

平成二九年二月二三日、伊那佐体育館にて「百歳体操」が開催されました。当日は各大字から、およそ三〇名の参加者が集まりました。

前半は宇陀市医療介護あんしんセンターの担当者様より認知症に関する講習会がありました。次に行われた「百歳体操」では、手首や足首に取り付けることのできるウエイト（重り）が参加者に配布され、ビデオの映像に合わせてゆっくりと運動しました。次第に体も温まり、楽しみながら無理なく運動することが心身の健康につながることを実感しました。



『大和トウキ』学習会

地域振興・産業・観光部会

昨今、宇陀市では薬草を活用したまちづくりを推進しています。これを機に地元の伝統的な薬草である大和トウキの学習会が二月二四日、旧伊那佐幼稚園で行われました。

講師として県農業研究開発センターの大谷正孝氏と大貝「山口農園」の山口武氏を迎え、トウキの特徴や効用、また栽培や製品化について語っていただきました。熱心な参加者の様子に「薬どころ」として名高い土地の特産品を次世代へ継承することの思いを感じる時間となりました。



伊那佐ニユース

◆八咫鳥神社

第五次御造営奉告祭

平成二八年一月三日、秋晴れのもとで八咫鳥神社第五次御造営奉告祭が滞りなく執り行われました。

この祭りに際しましては当社氏子の皆様を始め崇敬篤志の皆様からの並々ならぬご支援ご協力をいただきましたこと、衷心より厚く御礼申し上げます。

この祭りは二十年毎に行われているもので、昭和一〇年の皇紀二千六百年を機に当社が村社から県社へと昇格せられ、翌年の昭和一一年に第一次御造営が営まれました。

奇しくも当年は日本国創業を成し遂げられました神武天皇がお隠れになられてより二千六百年という節目の年でもあり、このような年に私達の代において御造営が営まれましたことは当社にとりましてたいへん意義のあることでした。

当日は、朝から御稚児さんが宝船を曳き、お参りになりました。全員で五十五名のご参加で、



たいへん賑わいました。

祭典は氏子役員や御来賓はじめ、大工棟梁様・各大字頭屋様にご参列いただき、厳粛に執り行うことが出来ました。

いつもの例祭と違うことは本殿御扉の開閉を行ったことが挙げられます。例祭では式次第の中で御扉の開閉をするのが本義ではありますが、当社は特有の社殿構造から常には行っていませんでした。しかし、この度は二十年に一度の重い祭祀でありましたので、本義のとおり執り行いました。なお、祭員として御杖村の小田明彦氏に助勤をお願いしましたところ快くお引き受けいただきました。



さて、御造営は何故営まれるのでしょうか。境内施設の壊れているところを直すこともその答えのひとつです。しかし、その答えをも含んだ本当の意味があります。

それはご祭神の御恵が平らかに安らかに連綿と続くことを祈る行いにあります。ご祭神の御恵がいつまでも雄々しく若々しくある状態を「常若(とこわか)」と呼び、この状態を願って行うことすべてが御造営の真髄です。

境内施設の修理を始め、お稚児さんの行列や比布青壮年会の皆様に行っていたいだいた勇壮な太鼓御輿の賑わいに至るまで、すべてこの「常若」を願い祝うものでした。



このように、この度の御造営は本来の意味からいたしましては十分に執り行われ、又たくさんの方々の御奉仕と篤志によって成功裏に執り納めることが出来ました。

たいへん有難く感謝の念に堪えません。

あらためまして、これまで神社を支えて来てくださった皆様の熱意や想いに深く敬意を表したいと思います。有難うございました。

八咫鳥神社宮司

栗野義典

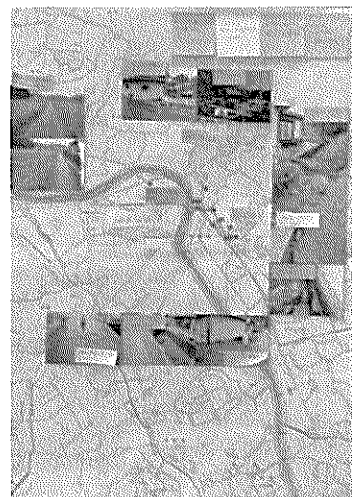
◆山路自治会で「防災マップ」づくり

本年度、山路自治会では「被害者ゼロ」を目指して、以前大宇陀で行われていた防災マップづくりを行うことになりました。

危機管理課に相談したところ、木津川上流河川事務所も協力していただけることになり、一月二七日に山路区内を三班に分けて危険箇所点検を行い地図に記録しました。また一月一八日には災害が発生したときにどのような対応をするべきか三班に分かれて、話し合いました。

そのまとめた内容をもとに三月二〇日に避難訓練を実施する予定です。

山路区 栗谷宗久



★お知らせ★

歴史学習会第2弾

3月18日(土)

午後1時30分より

旧伊那佐幼稚園2階リズム室

～内容～

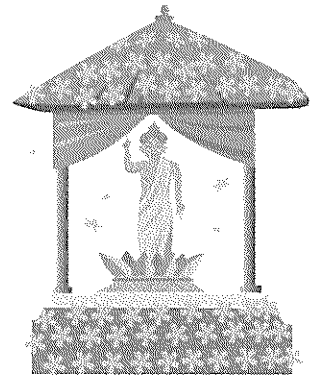
「キリシタン大名高山右近と澤城」(予定)

【広報部会より】

いつもお世話になっております。各大字の自治会長様におかれましては、平成29年度の行事予定表がございましたら、広報部員まで教えてくださいますようお願いします。

伊那佐の里 歳時記

(四月から七月末まで)



池上
特になし

石田

四月第二日曜 御田祭
七月 夏祭り

大貝

夏宵宮祭り

栗谷

四月 神武さん
五月 端午の節句・籠り
六月 ホタル観察

澤
七月 納涼大会

三宮寺
六月 田休み(夏祭り)

高塚

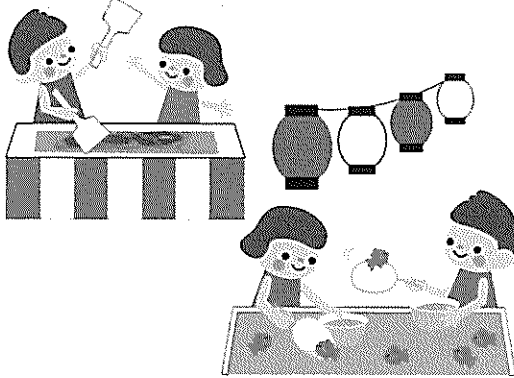
四月 (閏)庚申
五月 日待ち
五月 花祭り
五月 伊勢講



比布

六月 田休み
七月 夏宵宮(官座)

焼きそば



福西

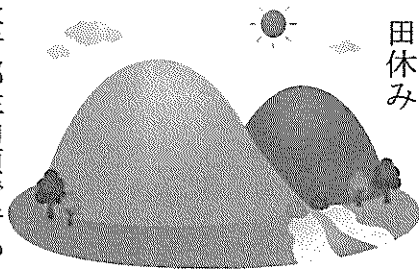
四月 おん田祭
四月 庚申講
六月 田休み
六月 庚申講
六月 伊勢講

母里

六月 田休み
七月 夏宵宮

山路

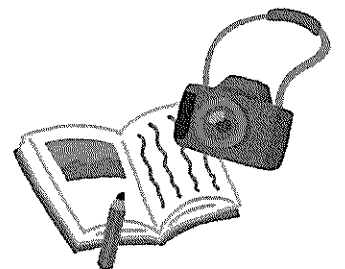
毎月二八日 お不動さん
四月第二日曜 岳会式
六月 田休み



※「岳会式」は伊那佐山頂で行われる都賀那岐神社の春祭りで山路をはじめ山麓の石田・栗谷・澤・母里(・大貝)の役員や崇敬者がお参りします。

※各行事の詳細は、それぞれの大字にお住まいの方にお尋ねくださいますようお願いいたします。

【編集後記】



はやいもので平成二八年度が終わりに近づき、もう幾つ寝ると新しい年度がやってきます。年度の替わり目は別れと出会いがつきものです。しかしこの伊那佐地区まちづくり協議会においては、たとえ卒業されましても同じ地域で暮らす者同士に変わりはありません。どうぞ引き続き、当協議会へのご参加をお願い申し上げます。

さて、「いなさびと」を編集しております広報部では、今後も皆様と情報を共有し、それぞれの特性を活かし、無理のない活動を実践していきます。

ぜひご協力のほどをお願いいたします。